

2019 ストリートハンドボール大会・ルール



*下線：ハンドボールと異なる部分

- ・ストリートハンドボールインターナショナルルールに準じますが、一部ローカルルールを適用します。
- ・ゲーム時間は、前半10分ー休憩5分ー後半10分で行います。
- ・ボールは、ストリートハンドボール用ボールを事務局で準備します。
- ・前後半のスタートは、センターからのスローオフ、得点後はキーパーのスローオフで再開します。
- ・スローオフ後には、味方全員でパスを回すことが必要です。
→キーパーからのスローオフ後、キーパーはゴールエリアから出て、再度ボールに触れる必要があります。
→全員がボールに触れた後にシュートすることができます。
- ・シュートする際、攻撃側のプレイヤーは全員、センターラインを越えていなければなりません。
- ・シュートした人は、得点が決まらなくても、キーパーとしてプレーを続けるか、控えメンバーと交代しなければなりません。交代した選手は、ゴールキーパーになります。
- ・交代メンバーは、あらかじめゴール近くのライン外に待機して、シュートしたプレイヤーがサイドラインからコートを出るのを確認してコートに入ります。
- ・キーパーは自由に交代できます。ただし、ゴールエリア内に2人入ることはできません。必ずキーパーがゴールエリア外に出てから交代してください。
→キーパーがエリア内でボールを持っている場合
 - ① その場にボールを置いて交代するか、
 - ② ②味方にパスしてゴールエリアから出て交代する。
- ・守備側チームはスローオフ時、自コートのゴールエリア(4 葎)ラインを踏まなければなりません。
- ・スローオフは、センターラインを踏み、ホイッスルが鳴ったら味方にパスします。
→この際、相手はパスカットが出来ます(空中と地面にあるボールは誰のものでもありません。)
- ・ドリブルは禁止。明らかにドリブルの場合は反則として相手ボールとなります。キャッチミスで落としたボールを拾っても、ドリブルにはなりません。
- ・故意の身体的な接触(タックルやつかむ)は禁止。接触プレーは相手チームのボールとなります。攻撃側についても同様(チャージングなど)。シュートブロックはOK。
- ・ゴールエリア近辺でのファウルは、審判が判定した地点から相手側のフリースローで再開します。
→防御側チームは、ボール保持者がスローするまで2 葎以上離れること。
- ・明らかなシュートチャンスを妨害するファウルの場合は、5 葎スローコンテストとする。
- ・ボールを持って移動できるのは、最大3歩まで。4歩以上はオーバーステップとし、相手側のフリースローで再開します。
- ・主審は1名。主審はゲームの流れをつくり、安全かつ公平にゲームを進めます。
- ・線審は2名またはなし。線審はフラッグを持って対角線上にゴール側へ1名ずつ立ち、ゴールラインを踏みこえたり、サイドラインやアウターゴールラインを越えてボールを保持したり、得点を判定して主審を補佐します。ファウルの判断は、主審が行います。線審を置かない場合は、主審が判定します。
- ・ゲームの流れを大切に、プレイヤーの達成感を保障してあげましょう。(例 ゴールエリアラインに触れてシュートした場合や、オーバーステップなどを見逃すなど)
- ・ピルエット(回転)シュートやスカイシュート、バックシュートなどスペシャルなシュートによる得点は2点、また、男性チームの中に女性1名の場合のシュートも2点(一般のみ)。キーパーのゴールエリア

内

からのダイレクトシュートも2点とします。

- ・基本的に、退場はありません。繰り返すファウルや粗暴なファウルにはイエローカードを上げます。

- ・楽しくゲームを行うことを共有しましょう！
 - ・子どもや初心者には、ルールを説明しながら親切にしましょう！
- 【禁止事項】・相手への誹謗中傷、挑発行為 ・応援のホイッスル使用